

# 袋井市の観光資源を活かした1泊2日の大学生女子旅ツアーの企画

県立農林環境専門職大学・農林環境経営学部・丹羽研究室

指導教員：准教授 丹羽康夫

参加学生：白石菜未、川口蘭々、熊崎ひかり、深川琴未、佐々木満帆

## 1 要約

観光の主力が遠州三山である袋井市は高年齢層による日帰り旅行者が多く、若年層による宿泊を伴う旅行者の招致が課題となっている。そこで、女子学生が宿泊を伴う旅行を企画することとした。企画に先立ち農業や畜産を専門に学ぶ女子学生の視点から袋井市の観光資源を調査してみると、天の恵みである陽の光を存分に浴びた温室メロンに加えて様々な農産品、地の恵みである広大な牧草地で放牧された牛とその乳製品、地下深くからの温泉とその温泉を利用したトラフグの陸上養殖、そしてそれら多種多様な食材を料理として提供してくれる人々と天地人すべてが揃っていることが明らかとなった。さらにコロナ禍のずっと以前より黙食を含めた三黙の実践と、屈指の精進料理を提供している可睡齋、また、法多山での着物による散策といった非日常体験の評価が高いことも明らかとなった。そこで「袋井で育み袋井でいただく」をキーワードとして1泊2日の大学生女子旅ツアーを企画し、それらを紹介する6種類のリーフレットとプロモーション用の動画を作成した。

本研究を通して“コロナ禍でその真価を発揮する袋井市”であることが明らかとなり、その強みを広く伝える必要性があることを痛感した。

## 2 研究の目的

袋井市の観光の主力である遠州三山（法多山、可睡齋、油山寺）へ訪れる旅行者の年代別比率では20歳代以下の比率が8.5%で、国内と静岡県内の26.0%と比べて低く、現状では20歳代以下の観光客に人気がない。また、袋井市の年間観光客数は約475万人で静岡県内のランキングでは8位と上位ではあるが、宿泊者数は約7万人と29位に甘んじている。遠州三山を訪れる観光客の9割は日帰り客であり、袋井市で宿泊を伴い観光を楽しむ人がとても少ないことが大きな課題となっている。

そこで、これら二つの課題を同時に解決することを目指し、農林業を専門に学び実習ではトマトの栽培や牛・鶏の飼育もおこなっている大学一、二年生女子ならではの視点を生かし、袋井市の観光資源（遠州三山、景観、グルメなど）について、分析・評価・開発をしたうえで袋井市ならではの強みを有機的に組み合わせることにより、女子学生がぜひ参加してみたい！と思えるような1泊2日の女子旅ツアーを企画することを目的とした。



## 3 研究の内容

本研究では、以下のように宿泊を伴う現地調査も含め3回のフィールドワーク、課題提出自治体の担当者を交えた会議に加えて、対面でのミーティングを5回、その他グループLINEによる情報共有、研究成果のまとめとなるリーフレットとプロモーション動画の作成を行った。

### ■ 10月17日【フィールドワーク1】

デンマーク牧場など袋井市南部を中心とした現地調査

調査地：①デンマーク牧場、②袋井温泉 和の湯、③名倉メロン農場、④どんどこあさば

### ■ 10月24日【フィールドワーク2】

遠州三山を中心とした現地調査とモニターツアーのための可睡齋での事前打ち合わせ

調査地：①油山寺、②可睡齋とじゃらーとげんき、③とれたて食楽部、④法多山、⑤菓蔵SUZUKI

### ■ 11月13日-14日【フィールドワーク3】

モニターツアーとして可睡齋での一泊参禅研修を含む現地調査

調査地：①フグ養殖場、②メロンカフェ、③IZACAFE coo-kai?、④可睡齋、⑤法多山

### ■ 12月20日【対面による会議】



## 4 研究の成果

### (1) 当初の計画

- ① 農林業を専門に学んでいる二十歳前後の大学生ならではの視点を生かし、袋井市の観光資源（遠州三山、景観、グルメなど）について、分析・評価・開発をしたうえで、「グリーンツーリズム」・「エコツーリズム」をキーワードとし、それらを有機的に組み合わせることで、女子学生がぜひ参加してみたい！と思えるような1泊2日の女子旅ツアーを企画する。
- ② その企画に基づいたモニターツアーを実施し、その様子を撮影、動画や写真を様々なSNSにより情報発信することで、袋井市が若者にとっても魅力的な観光地となることを目指す。

### (2) 実際の内容（Aは予定どおり、Bは一部修正、Cは中止など）とその理由

- 当初の計画①（A）袋井市、袋井市観光協会、可睡齋などの協力により予定通り実施できた  
当初の計画②（B）新型コロナウイルスの影響で一般参加によるモニターツアーは不実施

### (3) 実績および成果

#### デンマーク牧場など袋井市南部を中心とした現地調査（令和3年10月17日）

調査地：①デンマーク牧場、②袋井温泉 和の湯、③名倉メロン農場、④どんどこあさば

##### ① デンマーク牧場

広大な牧場で完全放牧の牛、山羊、羊などとふれあうことができた。牛乳はノンホモジナイズ・低温殺菌で黄色みがかっており風味があり乳脂肪分の層が確認できた。ソフトクリームはコクがあるがしつこくない味、ヨーグルトはプレーンで少し酸味がありとろりとした食感であった。

##### ② 袋井温泉 和の湯

地下1500メートルから涌出する褐色の源泉を用いた日帰り天然温泉は露天風呂やサウナが非常に充実しており、旅行の疲れを癒す効果が期待できた。敷地内で温泉を利用して養殖されているトラフグを用いた料理は、提供されている料理が限られていたが唐揚げなどは美味しかった。ただし骨が多く食べづらくもあった。

##### ③ 名倉メロン農場

1年を通してメロン栽培を行っており、実際にメロンを栽培していたガラス温室内で完熟メロンをつかったメニューを味わうことができ、農場内カフェは非常に混雑していた。100%ジュースは想像より飲みやすく美味しかった。タルトはメロンもタルトも美味しく、ハーフパフェは贅沢にメロンを食べられて満足感があった。

##### ④ どんどこあさば

地産地食を応援する遠州浅羽の農産物直売所では地元登録農家さんが出荷した野菜・果物・お米のほか、「まるごと豆富」なども販売されていた。当日はコスモス畑が見頃となっていた。



#### 遠州三山を中心とした現地調査（令和3年10月24日）

調査地：①油山寺、②可睡齋とじゅらーとげんき、③とれたて食楽部、④法多山、⑤菓蔵SUZUKI

##### ① 油山寺

遠州三山の一つで目の霊山としても名高い医王山薬王院油山寺に到着後、明治6年に掛川城の玄関口を守る大手門が移築された立派な山門をくぐるとそこはがらりと雰囲気が変わり驚かされた。油山寺の広い境内には豊かな自然や由緒ある建造物、文化財など、たくさんのみどころがあった。孝謙天皇がその滝の水で御眼を洗ったところ病が完治したと伝わる“るりの滝”で冬でも滝行ができるとのこと。

##### ② 可睡齋とじゅらーとげんき

可睡齋での宿泊についてご担当者様より詳細な説明をうけた。その後、東京ドーム10個分以上の可睡齋境内を調査した。豆乳から作られた精進アイスの中では豆乳アイスの豆乳感が1番強く、黒ごまアイスは黒ごまの味が強めで豆乳が苦手な人でも食べやすいと感じた。抹茶アイスは豆乳の味と抹茶の味のバランスが丁度良く和尚様お手製のあんこは甘めでアイスと食べると絶妙であった。地元の素材を使ったこだわりの手作りジェラートのげんきで15種類の試食を行った。蘇はまるやかでチーズ感が強く美味しかった。牡丹は杏仁豆腐風でフローラルな味わい、マロンは渋皮煮の栗が刻んで入っており甘さ強め、カシスは甘酸っぱい果実感があり着色料なしでの鮮やかな発色に驚嘆した。

##### ③ とれたて食楽部



マーケットはかなり広く地元の農産物が販売されていた。スイーツ類を集めた場所では手軽にいくつかのお店の商品が購入でき便利だと感じた。ガーデニングのお店は女性に好まれそうな雰囲気であった。フードコートでは地元の食材を使ったメニューが提供されており、とんきい焼きそばはもちもちで小松菜が入っていた。

#### ④ 法多山

門前のレンタル着物店および境内をくまなく調査した結果、Instagramの素材として利用できそうな場所をいくつか見つけ出すことができた

#### ⑤ 菓蔵SUZUKI

温室メロンのピューレを使用した王冠マカロンはマカロンの独特な甘さでメロン感はなかった。朝霧高原牛乳を使用したプリン類のうち、グレープフルーツプリンは甘さ控えめで苦味が強かった。マロンプリンはざらざらした食感と後味にほんのり栗の風味が残った。プリンは甘さが控えめで非常に滑らかであった。

### 可睡齋での一泊参禅研修を含む現地調査（令和3年11月13日～14日）

調査地：①フグ養殖場、②メロンカフェ、③IZACAFE coo - kai？、④可睡齋、⑤法多山

#### ①フグ養殖場

トラフグの陸上養殖は10年ほど前から始めたこと、温泉の熱でなく塩分を利用していることが分かった。近畿大学より稚魚を購入し、1年かけて料理に使える大きさに生育。照明や水質管理、槽の形に至るまで随所にこだわりや改良があることが確認できた。共食い防止のためすべてのフグの歯を切断していた。



#### ②メロンカフェ

ガラス温室で栽培されているクラウンメロンを見学させていただいた後、同じ敷地内にあるカフェでは非常にこだわりを持って野菜を厳選したカフェメニューが提供されていることが分かった。メロンジュース、カットメロン、メロンシャーベット、ランチメニュー、メロンかつカレーについて詳しく説明をしていただくことができ温室メロンの新たな魅力を発見することができた。

#### ③IZACAFE coo - kai？

ナポリ直送の石窯を備えたお店は洒落た雰囲気で非常に繁盛していた。サラダには地元産の野菜が使われており、バジルピザには袋井産のバジルが薄く広げられ香りと味が楽しめるよう工夫されていた。ピッツアブラーには柿が使われており、柿の意外な食べ方が非常に印象的であった。

#### ④可睡齋

禅の作法に従った食事やその準備、後片付け、3回に及ぶ座禅、朝のお務めや作務を通して、毎日の食事や農業を含めた命の育みとその命をいただくことについて、これまで意識していなかった事柄も含め、新たな気付きの機会とすることができた。



#### ⑤法多山

前回の調査結果を生かし、今回は門前でレンタル着物について調査を行い、着物を着用した状態でのフィールドワークを実施した結果、女子学生によるツアーの中で、着物による非日常体験は予想以上に高評価が得られることが明らかとなった。



可睡齋での参禅宿泊研修では通常の修行僧に近い形でスケジュールを組んでいただき、食事をいただくことについて参加学生にはこれまでにない気づきがあり、本研究にみにとどまらず今後の大学生活やその後の人生においても大変有意義な経験ができた。

以上のフィールドワークを通して、「袋井で育み袋井でいただく」をキーワードとし、袋井市観光資源の強みを有機的に組み合わせることで女子学生がぜひ参加してみたい！と思えるような1泊2日の女子旅ツアーを企画した。企画したツアーは参加学生各自の視点を生かして二つ折り、三つ折り、六つ折りの合計6種類のパンフレットとしてまとめた。また、2分弱にまとめたプロモーション用動画も作成した。作成した動画、パンフレットはともに他大学の女子学生からも高い評価をいただいた。パンフレット類は、観光案内所や商業施設、寺社仏閣等において配布予定である。プロモーション用動画は、袋井駅と愛野駅のデジタルサイネージにて情報発信できるよう検討を進めている。



#### (4) 今後の改善点や対策

今回の研究では袋井市の主だった観光地をおおよそ網羅することができた。しかしながら海に面した海岸部での調査まで手が回らず、海から山までをトータルに楽しめる袋井市の特徴をさらに深堀できたのではないかといささかの心残りがあった。また、袋井市でも特に人気が高い、風鈴まつりや花火を取材できなかつた点も残念であった。本研究の成果を活かすことで袋井市のさらなる魅力を発信できるものと確信する。

### 5 地域への提言

本プロジェクトに取り組んだ学生からの提言。

- A) 可睡齋の非日常の体験が楽しかった。インスタ映えも良いけれど、写真だけでは伝わらない体験ができたことで充実感があつた。可睡齋で宿泊できることをもっとアピールしたら宿泊客が増えると思った。
- B) 袋井には自分の想像よりもオシャレで楽しいスポットがあると知ることができた。しかしそれらをまとめて知る機会があまりなかつたので今回パンフレット等を作つたが、さらに袋井をまとめて知れるようなものがあるといいと思った。袋井はメロンが有名でそれらをオシャレな場所で楽しむことができ嬉しかった。女子旅とした場合、可睡齋は少し堅い感じなので研修観光コースの融合したものがあるといいと思った。
- C) 自分が参加しなかつた調査日であっても写真から楽しそうな様子が伝わつてきた。バスなどの交通機関を利用した女子旅を考えてもよかつたのかなと思った。

袋井市は全国でもトップレベルの日照時間を誇り、その恵みを存分に取り込んだ温室メロンや農産品に加えて広々とした牧草地でのびのびと放牧されている家畜類とその恵みの乳製品、さらには地下1500メートルから塩分を含んだ温泉の恵みとそれをトラフグの陸上養殖に活用するなど豊かで多様な地場産品が育まれており、さらにそれらを食材として袋井市内でおいしく食べられるように調理してくれる人々と天地人すべてが揃い、昨今のコロナ禍のはるか以前から三黙道場、そして食べ物をいただく前に五観の偈を唱える可睡齋での参禅宿泊と、新型コロナ禍により観光業は非常に大きなダメージを受けているが、このような状況下においてこそ袋井市内でのツアーはその真価を発揮すると確信した。

加えて、移動手段としては遠州三山巡回シャトルバスの定期便化やシェアサイクルの導入、タクシーの定額サービス、宿泊としてグランピング、さらに着物や浴衣による散策や参禅、滝行などとeスポーツとの非日常体験との組み合わせ、ハラル対応可能な精進料理はビーガンやアレルゲンフリーとも相性がよく富士山静岡空港を利用した海外からの集客の可能性をも感じた。

### 6 地域からの評価

袋井市産業政策課商業観光室 室長 土屋和成様より

今回の地域課題のキーワードは次の3点と考えておりそれぞれのキーワードをきちんと押さえたみなさんと袋井市ならではの特性を活かしつつ経済効果も期待できる1泊2日の袋井女子旅となっています。

#### ① 農林環境専門職大学の女子学生の特性を活かす

デンマーク牧場や名倉メロン農場などの「農」のテーマをきちんと取り込みつつメロンやアイスクリームなどのグルメにスポットを当てることで若い世代の女性の興味を引くツアーとなっています。

#### ② 袋井市ならではの地域資源を活かす

袋井市観光のスターコンテンツである法多山と可睡齋がチョイスされており、可睡齋での宿泊修行体験（坐禅や精進料理など）は好みが分かれるかもしれませんが、袋井市ならではの観光の特色が出ています。また、近年、流行となっている着物での参拝にスポットを当てることで、若い世代の女性の興味を引くツアーとなっています。

#### ③ 経済効果（「稼ぐ観光」）につながる

メロン（名倉メロン農場、シャング）やアイスクリーム（デンマーク牧場、じゅらーとげんき）のスイーツ、精進料理（可睡齋）やイタリアン（IZACAFE coo - kai ?）のお食事、袋井で獲れた野菜や果物（どんどこあさば、とれたて食楽部）のお買い物と食事や買い物による若い世代の女性の経済効果が期待できるツアーとなっています。